

令和8年度 吉備国際大学 履修証明プログラム募集要項

平成19年の学校教育法の改正により、大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校（以下「大学等」という。）における「履修証明制度」が創設されました。これは、大学等の積極的な社会貢献を促進するため、社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、その修了者に対して学校教育法に基づく履修証明書（Certificate）を交付する制度です。本学においては、令和8年度より、各学部学科の特色に応じたプログラムを展開しています。

※詳しくは文部科学省ホームページをご参照ください。

文部科学省ホームページはこちら https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/

令和8年度 吉備国際大学 履修証明プログラム開講一覧

（高梁キャンパス）

プログラム名	提供学部等
地域社会と経営の実践	社会科学部(経営社会学科)
スポーツコーチング	社会科学部(スポーツ社会学科)
高齢者看護実践の基本	看護学部
園芸療法の基礎	人間科学部
アニメーション演習	アニメーション学部

（岡山キャンパス）

プログラム名	提供学科等
実践英語コミュニケーション・プログラム	外国語学部

（南あわじ志知キャンパス）

プログラム名	提供学科等
「食と農」の安全と流通	農学部

※科目の詳細については別紙「シラバス」を参照

■お問い合わせ先

吉備国際大学 スチューデントサポートセンター教務部教務課

住所：〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8

電話番号：0866-22-7779

メールアドレス：kiu-tg-kyomu@office.jei.ac.jp

■申し込み方法

受講希望の方は、下記まで資料等請求のご連絡をお願いします。
時間割等の詳細説明資料と共に申込関係書類をお送りいたします。
募集期間：令和8年3月1日（土）～ 3月15日（土）

応募書類

- ①履修証明プログラム受講願書（本学所定のもの）
- ②高等学校の卒業証明書等、大学入学資格を有することを証明できる書類

受講手続き

応募書類を審査し、受講が許可された者には、受講許可通知書を送付します。
受講許可通知書到着後、期間内に納入金を納付してください。

それぞれのプログラムで開講している科目について、単位認定を希望する場合、科目等履修生として入学する必要があります。

詳細はこちら https://kiui.jp/nyushi/ot_kamoku/

■履修証明書

各プログラムの修了要件を全て満たした者を修了者とし、履修証明書を交付します。

各プログラムでの単位の授与はありません。単位認定を希望する場合、科目等履修生として入学する必要があります。

■個人情報の取り扱いについて

各プログラムへの申込に際してご提出いただいた氏名、住所、連絡先その他の個人情報は、以下の目的に限り利用し、適切に管理いたします。

- ・履修登録の審査および選考結果の通知
- ・履修手続きおよび履修生の管理業務
- ・統計的な集計・分析（個人を特定できない形式に限る）

また、法令に基づく場合や、個人の生命・身体・財産等の保護に緊急を要し、本人の同意を得ることが困難な場合を除き、本人の同意なく第三者に提供することはありません。

■その他、注意事項

- ①出願書類に不備がある場合は受付できません。
- ②既納の学納金及び提出された書類は返還しません。
- ③履修が許可される期間は1年間で、1年を超えて履修する場合は改めて出願手続きが必要です。
- ④履修の取りやめ及び許可の取り消し
 - ・本人の都合により途中で履修を取りやめる場合には、速やかにその旨を届け出なければなりません。
 - また、すべての履修を取りやめる場合には、受講証を返却しなければなりません。
 - ・受講生がその本分に反する行為を行ったと認められるときは、直ちに履修の許可を取り消すことがあります。
- ⑤受講生は、通学証明書、学割証の発行はできません。

年 月 日

吉備国際大学 履修証明プログラム履修許可願

ふりがな		性別	生年月日（西暦で記入）	写真貼付 (4cm×3cm) 3ヶ月以内に撮影した もの
氏名	印		年 月 日 (歳)	
現住所	〒			
E-mail				
電話番号		携帯電話番号		
学 歴	期間等（西暦で記入）	出身学校名・勤務先名など		
	年 月 ~ 年 月	高等学校卒業		
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
職 歴 <small>非正規雇用・主婦を含む</small>	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
履修希望プログラム				
履修プログラム名				
単位認定の希望	希望する	希望しない		
	※単位認定を希望する場合、別途、科目等履修生の入学手続きをお願いします。			
備 考				
〔添付書類〕	・最終学校の卒業（卒業見込）証明書			

受講番号		受付年月日	
------	--	-------	--

太枠内は記入しないこと。

令和8年度 履修証明プログラム計画書

学部・学科等	社会科学部・経営社会学科
課程の名称	地域社会と経営の実践
目的、獲得できるスキルや能力	(前半) 地方をめぐる諸問題を多角的に取り上げ、問題点の把握と現状分析を行い、課題解決を提案できるようになる。(後半) 多様な仕事内容や経営者の実像を把握できるようにすると共に将来のリーダーとして、どのように自分を育成していくかを理解すること。また、地域に愛着心を持つと共に地域産業の実態を知ってもらうことを目標とする。
総時間数	60時間
履修資格	吉備国際大学学則第20条に規定する本学への入学資格を有する者とする 一 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む) 三 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 五 文部科学大臣の指定した者 六 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(大学入学資格検定に合格した者を含む) 七 本学の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者
定員	10名
受講料	30,000円(500円/1時間) (単位 認定を希望し、科目等履修生として受講する場合、選考料10,000円、登録料10,000円、履修料 1単位につき10,000円となる。)
受講料とは別にかかる費用	教科書代
講習又は授業の方法	対面1.5h+オンライン(振り返り) 0.5h=2h
開催場所	吉備国際大学 高梁キャンパス
実施時期	1年(令和8年4月~令和9年3月)
修了要件	2科目60時間を受講し、定期試験を受けて合格すること
単位の授与の有無	科目等履修生として受講した場合 有
実施体制	履修状況は担当教員が確認する。修了認定は、担当教員の成績評価を教授会で審議後、学務代議員教授会で承認する。学籍管理および教務事務は、学生サポートセンター教務部教務課が行う。
その他当該大学が必要と認める事項	「地域マネジメント」(2単位)「リーダーシップと経営者」(2単位)の単位認定を希望する場合は、別途、科目等履修生として入学すること。

令和8年度 履修証明プログラム計画書

内容			
講義内容	科目名	回数	講義時間
オリエンテーション～地域マネジメントとは？～	地域マネジメント	第1回	2時間
マネジメントとは何か？		第2回	2時間
山に価値がなくなったとき、どうするか？～生成AIとともに学ぶ～		第3回	2時間
中山間地域で林業がだめになったときどうするか？～事例①徳島県上勝町		第4回	2時間
中山間地域で林業がだめになったときどうするか？～事例②岡山県西粟倉村		第5回	2時間
中山間地域で林業がだめになったときどうするか？～事例③北海道下川町		第6回	2時間
中山間地域を考える～” JOKER” と” 僕のヒーローアカデミア” ～		第7回	2時間
離島は何に挑戦すればいいのか？～事例④島根県海士町		第8回	2時間
災害のあと、どう挑戦すればいいのか？～事例⑤宮城県女川町		第9回	2時間
「なんにもない」から抜け出すためには？～事例⑥徳島県神山町		第10回	2時間
「なんにもない」から抜け出すためには？～映画「UDON」から考える～		第11回	2時間
「なんにもない」から抜け出すためには？～映画「Yesマン」から考える～		第12回	2時間
「あるもの」を活かすためには？～事例⑦丸亀町/沼垂商店街の再開発と再生劇		第13回	2時間
高梁に賑わいを作るとすればどこにする？①～中心と点を結ぶために～		第14回	2時間
高梁に賑わいを作るとすればどこにする？②～中心と点を結ぶために～		第15回	2時間
オリエンテーション・目標・内容説明	リーダーシップと経営者	第1回	2時間
リーダーシップ研究の歴史と基礎理論		第2回	2時間
変革型リーダーシップとサーバントリーダーシップ		第3回	2時間
リーダーシップと経営者（ゲスト企業経営者①）		第4回	2時間
経営者の役割と意思決定		第5回	2時間
リーダーシップと経営者（ゲスト企業経営者②）		第6回	2時間
日本の経営者像とリーダーシップ（歴史的視点）		第7回	2時間
リーダーシップと経営者（ゲスト企業経営者③）		第8回	2時間
女性リーダーとダイバーシティ		第9回	2時間
リーダーシップと経営者（ゲスト企業経営者④）		第10回	2時間
チームビルディングとフォロワーシップ		第11回	2時間
リーダーシップと経営者（ゲスト企業経営者⑤）		第12回	2時間
経営者の社会的責任と倫理		第13回	2時間
リーダーシップと経営者（ゲスト企業経営者⑥）		第14回	2時間
リーダーシップと経営者についてのリフレクション		第15回	2時間
		計	60時間

令和8年度 履修証明プログラム計画書

学部・学科等	社会科学部・スポーツ社会学科
課程の名称	スポーツコーチング
目的、獲得できるスキルや能力	スポーツにおけるコーチングの基礎ならびに応用について理解することができる。心理的側面とコミュニケーションを重視したコーチングができるようになる。また、チームスポーツにおける課題について議論し、課題解決に向けて考える力を身につけることができる。
総時間数	60時間
履修資格	吉備国際大学学則第20条に規定する本学への入学資格を有する者とする 一 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む） 三 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 五 文部科学大臣の指定した者 六 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定に合格した者を含む） 七 本学の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者
定員	5名
受講料	30,000円(500円/1時間) (単位認定を希望し、科目等履修生として受講する場合、選考料10,000円 登録料10,000円、履修料 1単位につき10,000円となる。)
受講料とは別にかかる費用	教科書代
講習又は授業の方法	座学・ディスカッション
開催場所	吉備国際大学 高梁キャンパス
実施時期	1年(令和8年4月～令和9年3月)
修了要件	2科目60時間を受講し、定期試験を受けて合格すること
単位の授与の有無	科目等履修生として受講した場合 有
実施体制	履修状況は担当教員が確認する。修了認定は、担当教員の成績評価を教授会で審議後、学務代議員教授会で承認する。学籍管理および教務事務は、学生サポートセンター教務部教務課が行う。
その他当該大学が必要と認める事項	「基礎コーチング論」(2単位)「応用コーチング論」(2単位)の単位認定を希望する場合は、別途、科目等履修生として入学すること。

令和8年度 履修証明プログラム計画書

内容			
講義内容	科目名	回数	講義時間
人間の潜在能力の豊かさ	基礎コーチング論	第1回	2時間
勝利者の欲望 外的モチベーションと内的モチベーション		第2回	2時間
家族による条件付けと社会と組織による条件付け		第3回	2時間
過ちや失敗による条件付けと条件付けの方向付け		第4回	2時間
条件付けと心構えについて		第5回	2時間
ただ1つの目的と目標設定について		第6回	2時間
目標の種類と内的モチベーション		第7回	2時間
外的モチベーションについて		第8回	2時間
積極的なセルフイメージの重要性について		第9回	2時間
セルフイメージと独創性		第10回	2時間
積極的肯定的宣言とコーチング法		第11回	2時間
ビジュアル化とコーチング法		第12回	2時間
習慣や心構えの形成と改革について		第13回	2時間
反モチベーターと排除と置き換えのプロセスについて		第14回	2時間
欲求階層と人生の意義と目的について		第15回	2時間
コミュニケーションスキルについて	応用コーチング論	第1回	2時間
効果的なコミュニケーションの必要性		第2回	2時間
説得、折衝、交渉から見るコミュニケーションスキル		第3回	2時間
4つの特徴からみる心理的な性格特徴について		第4回	2時間
4つの性格特徴に合わせた人間関係づくり		第5回	2時間
チームマネジメントとセクショナリズムによる思考理解について		第6回	2時間
スポーツ組織に見るGMの役割とコミュニケーションについて		第7回	2時間
創造的な聴き方について		第8回	2時間
エグゼグティブの管理能力について		第9回	2時間
エグゼグティブに必要な質問力とコーチングについて		第10回	2時間
人選とチーム編成について		第11回	2時間
優れたチームメンバーを保つためのコミュニケーションについて		第12回	2時間
エグゼグティブの生産性を最も高めるための権限移譲について		第13回	2時間
パーソナリティと安定性について		第14回	2時間
個人的カリスマの引力について		第15回	2時間
		計	60時間

令和8年度 履修証明プログラム計画書

学部・学科等	看護学部 看護学科
課程の名称	高齢者看護実践の基本
目的、獲得できるスキルや能力	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を一人の生活者として捉え、多面的・総合的に理解を深めることができる ・在宅看護の目的と特徴の理解を深めることができる ・家族看護の基礎理論と活用について理解を深めることができる
総時間数	60時間
履修資格	<p>吉備国際大学学則第20条に規定する本学への入学資格を有する者とする</p> <ol style="list-style-type: none"> 一 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者+C18:C32 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む） 三 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 五 文部科学大臣の指定した者 六 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定に合格した者を含む） 七 本学の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者
定員	5名
受講料	30,000円(500円/1時間) (単位認定を希望し、科目等履修生として受講する場合、選考料10,000円、登録料10,000円、履修料 1単位につき10,000円となる。)
受講料とは別にかかる費用	講義に使用する書籍代（3冊）が必要となる。
講習又は授業の方法	講義・グループワーク・アクティブラーニング
開催場所	吉備国際大学 高梁キャンパス
実施時期	1年(令和8年4月～令和9年3月)
修了要件	3科目60時間を受講し、各科目の定期試験を受けて合格すること
単位の授与の有無	科目等履修生として受講した場合、有
実施体制	履修状況は担当教員が確認する。修了認定は、担当教員の成績評価を教授会で審議後、学務代議員教授会で承認する。学籍管理および教務事務は、スチューデントサポートセンター教務部教務課が行う。
その他当該大学が必要と認める事項	「老年看護学概論」（2単位）「在宅看護学概論」（1単位）「家族看護学」（1単位）の単位認定を希望する場合は、別途、科目等履修生として入学すること。

令和8年度 履修証明プログラム計画書

内容			
講義内容	科目名	回数	講義時間
<理念> 高齢者理解への視点 高齢者理解の9つのP	老年看護学概論	第1回	2時間
<対象論> 身体的老化の過程①：身体的老化のプロセス等		第2回	2時間
<対象論> 身体的老化の過程②：運動器系		第3回	2時間
<対象論> 精神的老化の過程②：高齢者の知能 等		第4回	2時間
<対象論> 精神的老化の過程③：社会的老化への課題 等		第5回	2時間
<家族論> 現代の高齢者と家族：家族とのライフスタイル 等		第6回	2時間
<家族論> 家族介護機能と課題		第7回	2時間
<家族論> 要介護高齢者と家族の課題		第8回	2時間
<社会論> 日本と世界の高齢化の現状		第9回	2時間
<社会論> 介護保険制度の概要		第10回	2時間
<健康論> 健康逸脱からの回復を促す看護1		第11回	2時間
<健康論> 健康逸脱からの回復を促す看護2		第12回	2時間
検査・診断・治療時のケア		第13回	2時間
エンオブライフケア」		第14回	2時間
課題のまとめ（GW）		第15回	2時間
地域における暮らしを支える看護	在宅看護学概論	第1回	2時間
地域・在宅看護の対象		第2回	2時間
在宅療養者の家族への看護（1）在宅療養における家族看護		第3回	2時間
在宅療養者の家族への看護（2）家族介護者の現状とその支援		第4回	2時間
訪問看護の制度		第5回	2時間
介護保険制度におけるケアマネジメント		第6回	2時間
地域・在宅看護の実践の場と連携		第7回	2時間
地域包括ケアシステムと地域共生社会		第8回	2時間
家族看護の定義・家族に関する理論	家族看護学	第1回	2時間
急性期患者・慢性期患者の家族看護		第2回	2時間
終末期患者の家族看護		第3回	2時間
小児患者の家族看護		第4回	2時間
高齢の患者の家族看護		第5回	2時間
精神科疾患患者の家族看護		第6回	2時間
周産期に関する家族看護		第7回	2時間
		計	60時間

令和8年度 履修証明プログラム計画書

学部・学科等	人間科学部 人間科学科
課程の名称	園芸療法の基礎
目的、獲得できるスキルや能力	目的：この科目は、植物を育てる喜びや自然との触れ合いを、人々の健康や生活の質の向上（QOL）に活かすための園芸の基礎と実践、園芸療法を体系的に学ぶことを目的とする。 獲得できるスキル：①園芸や栽培技術を獲得できる。②園芸療法の歴史、方法と効果、対象者などの基礎知識を理解できる。③事例を通して対象者のニーズや課題が理解し、園芸療法の実践を系統立てて考えられるスキルを獲得できる。
総時間数	60時間
履修資格	吉備国際大学学則第20条に規定する本学への入学資格を有する者とする 一 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む） 三 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 五 文部科学大臣の指定した者 六 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定に合格した者を含む） 七 本学の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者
定員	5名
受講料	30,000円(500円/1時間) (単位認定を希望し、科目等履修生として受講する場合、選考料10,000円、登録料10,000円、履修料 1単位につき10,000円となる。)
受講料とは別にかかる費用	土や苗代が必要。講義に使用する書籍代（1冊分）が必要となる。
開催場所	吉備国際大学 高梁キャンパス
実施時期	1年(令和8年4月～令和9年3月)
講習又は授業の方法	対面。天候や花壇の状態によって、屋外実習ができない場合は、内容が変更になる場合がある。
修了要件	2科目60時間を受講し、定期試験を受けて合格すること
単位の授与の有無	科目等履修生として受講した場合、有
実施体制	履修状況は担当教員が確認する。修了認定は、担当教員の成績評価を教授会で審議後、学務代議員教授会で承認する。学籍管理および教務事務は、チュードレントサポートセンター教務部教務課が行う。
その他当該大学が必要と認める事項	「園芸論」(2単位)「園芸療法論」(2単位)の科目について、単位認定を希望する場合は、別途、科目等履修生として入学すること。

令和8年度 履修証明プログラム計画書

内容			
講義内容	科目名	回数	講義時間
オリエンテーション、人間と植物の関わりについて	園芸論	第1回	2時間
実習：花壇の土壌づくり準備		第2回	2時間
実習：花卉の植え付け		第3回	2時間
植物の利活用		第4回	2時間
実習：花壇整備と土入れ		第5回	2時間
実習：野菜苗の植え付け		第6回	2時間
植物の分類①花・野菜・樹木・果樹		第7回	2時間
実習：園芸ラベル作成と野菜のプランター栽培		第8回	2時間
植物の分類②観葉植物、ハーブとその活用・利活用		第9回	2時間
有毒植物・危険な生き物、対策と応急処置		第10回	2時間
季節の野花、高齢者施設での園芸活動		第11回	2時間
成人期と植物		第12回	2時間
老年期と植物		第13回	2時間
園芸福祉について		第14回	2時間
臨床における植物や自然を活用することの必要性、まとめ		第15回	2時間
高齢者施設での園芸療法実践の紹介	園芸療法論	第1回	2時間
植物と人間の健康との関わり		第2回	2時間
園芸療法、園芸福祉、園芸活動とは。園芸療法の「歴史」		第3回	2時間
園芸療法の対象と効果		第4回	2時間
園芸療法や園芸福祉で用いる植物の種類と利活用の仕方		第5回	2時間
高齢者施設で行われる園芸療法プログラム体験実習		第6回	2時間
園芸活動経験・興味関心評価		第7回	2時間
園芸療法をはじめるにあたって、園芸療法で用いる評価、プログラム立案		第8回	2時間
事例①サシェ作りの分析		第9回	2時間
事例②絵手紙の分析、カルテ情報提供（HDS-R、興味関心リスト、認知症絵カード）の考察		第10回	2時間
事例③田植えの分析		第11回	2時間
事例④園芸療法計画書の作成方法と実施		第12回	2時間
リスクマネジメント		第13回	2時間
高齢者の集団に対する園芸療法の実践のための計画書作成		第14回	2時間
園芸療法と自分の専門領域について		第15回	2時間
		計	60時間

令和8年度 履修証明プログラム計画書

学部・学科等	アニメーション学部・アニメーション学科
課程の名称	アニメーション演習
目的、獲得できるスキルや能力	アニメーション制作の演習に取り組み、各自がオリジナルのアニメーション作品を制作できる知識と技術を修得することを目標とする。 アニメーション制作に必要な描画ソフトや編集ソフトに対する知識と技術を学び、ショートアニメーション制作に取り組むことで基礎的なスキルを修得できる。
総時間数	60時間
履修資格	吉備国際大学学則第20条に規定する本学への入学資格を有する者とする 一 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む） 三 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 五 文部科学大臣の指定した者 六 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定に合格した者を含む） 七 本学の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者
定員	5名
受講料	30,000円(500円/1時間) (単位認定を希望し、科目等履修生として受講する場合、選考料10,000円、登録料10,000円、履修料 1単位につき10,000円となる。)
受講料とは別にかかる費用	教科書代 2,500円程度
講習又は授業の方法	アニメーション作品の制作を始める前にPC・ペンタブレット、描画ソフトの使い方を修得して制作研究を行う。画像制作を通してアニメーション制作ツールと資料の活用方法を模索した後、自由な発想でアニメーション制作を行う。PC、ソフトなどは教室に準備できている。
修了要件	2科目60時間を受講し、定期試験を受けて合格すること
開催場所	吉備国際大学 高梁キャンパス
実施時期	1年(令和8年4月～令和9年3月)
単位の授与の有無	科目等履修生として受講した場合 有
実施体制	履修状況は担当教員が確認する。修了認定は、担当教員の成績評価を教授会で審議後、学務代議員教授会で承認する。学籍管理および教務事務は、学生サポートセンター教務部教務課が行う。
その他当該大学が必要と認める事項	「アニメーション演習A」(2単位)「アニメーション演習B」(2単位)の単位認定を希望する場合は、別途、科目等履修生として入学すること。

令和8年度 履修証明プログラム計画書

内容			
講義内容	科目名	回数	講義時間
目的・アニメーション制作の流れ	アニメーション演習A	第1回	2時間
Clipの基本操作（レイヤー・タイムライン）		第2回	2時間
ワークスペースの設定・テンプレートファイルの作成		第3回	2時間
絵コンテとライカリール		第4回	2時間
コンテのブラッシュアップ・パース		第5回	2時間
作画（髪の毛のびき）・描き送り		第6回	2時間
作画（手を振る）・中割り		第7回	2時間
作画（走り）		第8回	2時間
カメラワーク		第9回	2時間
After Effectsの基本操作		第10回	2時間
After Effectsのエフェクト		第11回	2時間
作画（ラフ）		第12回	2時間
作画（タイムライン・セルクミ）		第13回	2時間
ラフ作業のヒント		第14回	2時間
クリンナップ・中割り		第15回	2時間
目的・アニメーション制作の流れ Clipの基本操作	アニメーション演習B	第1回	2時間
ペイント（仮色塗り）		第2回	2時間
ペイント（本番塗り）		第3回	2時間
ライティング		第4回	2時間
マスクワーク After Effects		第5回	2時間
レンズ		第6回	2時間
書き出し・編集		第7回	2時間
作画（パース）		第8回	2時間
作画（アオリ・フカン）		第9回	2時間
作画（歩き）		第10回	2時間
作画（メタモルフォーゼ）		第11回	2時間
作画（目ぱち・口パク）		第12回	2時間
作画（お辞儀）		第13回	2時間
作画（ハンカチを振る）		第14回	2時間
作画（ハンカチを振る）		第15回	2時間
		計	60時間

令和8年度 履修証明プログラム計画書

学部・学科等	外国語学部・外国学科
課程の名称	実践英語コミュニケーション・プログラム
目的、獲得できるスキルや能力	実践的な英語能力の向上を目指す社会人等のためのプログラムです。このプログラムを受講することにより、英語コミュニケーションにおける聴く、話す、読む、書くの4つの技能がバランスよく総合的に身に付きます。英語コミュニケーション能力のテストであるTOEICのスコアであれば、1年間で100点以上のスコアアップが期待できます。
総時間数	180時間
履修資格	吉備国際大学学則第20条に規定する本学への入学資格を有する者とする 一 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む） 三 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 五 文部科学大臣の指定した者 六 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定に合格した者を含む） 七 本学の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者
定員	5名
受講料	90,000円(500円/1時間) (単位 認定を希望し、科目等履修生として受講する場合、選考料10,000円、登録料10,000円、履修料 1単位につき10,000円となる。)
受講料とは別にかかる費用	教科書代
講習又は授業の方法	ネイティブスピーカーによる対面授業
開催場所	吉備国際大学 岡山キャンパス
実施時期	1年(令和8年4月～令和9年3月)
修了要件	6科目180時間を受講し、定期試験を受けて合格すること
単位の授与の有無	科目等履修生として受講した場合 有
実施体制	履修状況は担当教員が確認する。修了認定は、担当教員の成績評価を教授会で審議後、学務代議員教授会で承認する。学籍管理および教務事務は、学生サポートセンター教務部教務課が行う。
その他当該大学が必要と認める事項	単位認定を希望する場合は、別途、科目等履修生として入学すること。

令和8年度 履修証明プログラム計画書

内容			
講義内容	科目名	回数	講義時間
Asking for information, Time	インテグレイテッド・イングリッシュ I	第1回	2時間
Describing things, Adjectives		第2回	2時間
Making requests, Saying no politely		第3回	2時間
Giving instructions, Helping someone		第4回	2時間
Review and consolidation, Language activity		第5回	2時間
Asking for permission, Levels of politeness		第6回	2時間
Making excuses and giving reasons, Explaining		第7回	2時間
Giving opinions, Agreeing/disagreeing		第8回	2時間
Comparing things, Sharing ideas		第9回	2時間
Review and consolidation, Language activity		第10回	2時間
Giving advice and making suggestions		第11回	2時間
Talking about experiences, Different activities		第12回	2時間
Inviting, Social events		第13回	2時間
Making predictions, talking about the future		第14回	2時間
Review, practice & consolidation		第15回	2時間
about me	英語ライティング I	第1回	2時間
my friends		第2回	2時間
my home town		第3回	2時間
my school		第4回	2時間
my dream		第5回	2時間
food		第6回	2時間
sport		第7回	2時間
jobs		第8回	2時間
nature		第9回	2時間
travel		第10回	2時間
festivals		第11回	2時間
health		第12回	2時間
mistakes		第13回	2時間
regrets		第14回	2時間
next term		第15回	2時間

令和8年度 履修証明プログラム計画書

Course overview, Identifying topics & recognizing main ideas	英語リーディング I	第1回	2時間
Making inferences, Predictions		第2回	2時間
Understanding text features, Meaning from context		第3回	2時間
Skimming & scanning for information		第4回	2時間
Remembering detail		第5回	2時間
Understanding pronoun reference		第6回	2時間
Interpreting photos based on text information		第7回	2時間
Word grouping		第8回	2時間
Identifying main ideas and supporting details		第9回	2時間
Reading for details		第10回	2時間
Understanding different sentence structures		第11回	2時間
Understanding reference words		第12回	2時間
Recognizing facts vs. opinions		第13回	2時間
Interpreting language used in a text		第14回	2時間
Making inferences, course review		第15回	2時間
01) Self-Introduction, Family Members and Pets A, etc	英語オーラル・コミュニケーション II	第1回	2時間
02) Self-Introduction, Family Members and Pets B, etc		第2回	2時間
03) Hobbies		第3回	2時間
04) An Important Thing / Item		第4回	2時間
05) A Shop or Restaurant		第5回	2時間
06) A Place		第6回	2時間
07) A Snack or Soft Drink		第7回	2時間
08) Describing Photographs and Pictures		第8回	2時間
09) A Movie or Video		第9回	2時間
10) A Person		第10回	2時間
11) A Memory (eg. a Trip)		第11回	2時間
12) My Part-Time Job(s) or What I want to do		第12回	2時間
13) Speaking Practice A		第13回	2時間
14) Speaking Practice B		第14回	2時間
15) My Plans for August and September		第15回	2時間

令和8年度 履修証明プログラム計画書

Introduction and orientation	インテグレイテッド・イングリッシュⅡ	第1回	2時間
Global population trends		第2回	2時間
Fossil fuels		第3回	2時間
Global heating		第4回	2時間
Plastic		第5回	2時間
Cars and the future		第6回	2時間
Science and agriculture		第7回	2時間
Water		第8回	2時間
Migration		第9回	2時間
Conflict patterns		第10回	2時間
Robots		第11回	2時間
Ageing societies		第12回	2時間
Renewable energy		第13回	2時間
The future I (presentation)		第14回	2時間
The future II (presentation)		第15回	2時間
U-01 (Main Text, etc)	英語リーディングⅡ	第1回	2時間
U-02 (Main Text, etc)		第2回	2時間
U-03 (Main Text, etc)		第3回	2時間
U-04 (Main Text, etc)		第4回	2時間
U-05 (Main Text, etc)		第5回	2時間
U-06 (Main Text, etc)		第6回	2時間
U-07 (Main Text, etc)		第7回	2時間
U-08 (Main Text, etc)		第8回	2時間
U-09 (Main Text, etc)		第9回	2時間
U-10 (Main Text, etc)		第10回	2時間
U-11 (Main Text, etc)		第11回	2時間
U-12 (Main Text, etc)		第12回	2時間
U-13 (Main Text, etc)		第13回	2時間
U-14 (Main Text, etc)		第14回	2時間
U-15 (Main Text, etc)		第15回	2時間
		計	180時間

令和8年度 履修証明プログラム計画書

学部・学科等	農学部
課程の名称	「食と農」の安全と流通
目的、獲得できるスキルや能力	食と農に携わる職業（生産、加工、流通・販売、調理、食育など）を実践するにあたり、基本的な食品衛生上の知識と流通・マーケティング理論の獲得を目指す。
総時間数	60時間
履修資格	吉備国際大学学則第20条に規定する本学への入学資格を有する者とする 一 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む） 三 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 五 文部科学大臣の指定した者 六 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定に合格した者を含む） 七 本学の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者
定員	5名
受講料	30,000円(500円/1時間) (単位認定を希望し、科目等履修生として受講する場合、選考料10,000円登録料10,000円、履修料 1単位につき10,000円となる。)
受講料とは別にかかる費用	なし
講習又は授業の方法	講義（数回のグループワークを含む）
開催場所	吉備国際大学 南あわじ志知キャンパス
実施時期	1年(令和8年4月～令和9年3月)
修了要件	2科目60時間を受講し、定期試験を受けて合格すること
単位の授与の有無	科目等履修生として受講した場合 有
実施体制	履修状況は担当教員が確認する。修了認定は、担当教員の成績評価を教授会で審議後、学務代議員教授会で承認する。学籍管理および教務事務は、学生サポートセンター教務部教務課が行う。
その他当該大学が必要と認める事項	「食の安全学」(2単位)「流通論」(2単位)の単位認定を希望する場合は、別途、科目等履修生として入学すること。

令和8年度 履修証明プログラム計画書

内容			
講義内容	科目名	回数	講義時間
食の安全学とは	食の安全学	第1回	2時間
農業生産に関わる者の責務と義務		第2回	2時間
食の安全と農薬		第3回	2時間
食中毒の分類と発生状況		第4回	2時間
食中毒の原因微生物		第5回	2時間
カビ毒のリスクについて		第6回	2時間
食品偽装・異物混入等の事例1		第7回	2時間
食品偽装・異物混入等の事例2		第8回	2時間
遺伝子組換え食品・ゲノム編集食品の安全性		第9回	2時間
食品衛生法と食品添加物を考える前に		第10回	2時間
食品衛生法とは		第11回	2時間
食品添加物とは		第12回	2時間
お酒の有効性、危険性		第13回	2時間
食の安全と水産		第14回	2時間
食の安全 今後の課題、まとめ		第15回	2時間
流通の歴史的背景1 近江商人	流通論	第1回	2時間
流通の歴史的背景2 灘五郷		第2回	2時間
食品業界の流通1 食品スーパー		第3回	2時間
食品業界の流通2 コンビニ		第4回	2時間
食品業界の流通3 農産物直売所		第5回	2時間
食品業界の流通4 卸売市場		第6回	2時間
食品業界の流通5 トレーサビリティ		第7回	2時間
物流の変化 宅配システム		第8回	2時間
新たなる流通 Amazonなど		第9回	2時間
物流とサプライチェーン トヨタ		第10回	2時間
マーケティング戦略 STPと4P4C		第11回	2時間
市場分析 SWOT分析		第12回	2時間
グループワーク1 SWOT分析を実践		第13回	2時間
グループワーク2 SWOT分析を実践		第14回	2時間
最終課題 発表会		第15回	2時間
		計	60時間